

「あやかりたい」

県立神戸高等学校長
新谷 浩一

○ 嬉しい知らせは続々と…

新しく校長室に飾られた花に、華道部からのメッセージ。『本日の花材は菖蒲と黄菊です。菖蒲は子どもの健やかな成長を願う縁起のよい植物です。また、黄菊にも「長寿と幸福」という花言葉があります。私たちもこの植物にあやかり、日々精進していきたいです』

すつとまっすぐに背筋を伸ばした菖蒲と、その足元を華やかに飾る黄菊との色のコントラストが実に印象的です。ちなみに菖蒲はアヤメ科に共通の「優しい心」、「優雅」に加え、5月5日の端午の節句に飾る花であることから「心意気」という花言葉もあるとのこと。『日々精進していきたい』との決意にふさわしい花とも言えます。

常に、同級生の誰かがスポットライトを浴びています。そんな環境に身を置くと「次は自分が…」そんな気にもなりますよね。『精進』、古臭い言葉ではありますが、そこに込められた「ひたむきな努力」は、自身の向上心を高めてくれる解りやすいキーワードであるのかもしれません。

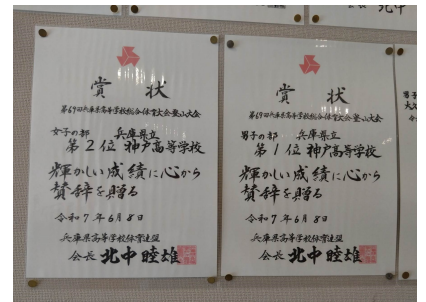
神高生の新たな活躍の知らせが続々と届きます。まずは神戸大学が中心となり、兵庫県立大学、関西学院大学、甲南大学、神戸薬科大学と共同で、将来国際的に活躍する科学技術人材への育成を目指す教育プログラム”ROOT”から。これは科学分野で強い好奇心・探求心を持った高校生を大きく成長させてくれる組織です。毎年50名程度、ココで学ぶことを許された高校生は大学教員による講義・実習、先端的研究機関の見学など約半年間の基礎を経験したのち、実践的な研究活動に取り組ませていただく機会を得ることとなります。

このたび、その研究成果が認められ、清家心実さん、関之川賢人くんがそれぞれアメリカ合衆国のワシントン大学で開催される同大学の研究発表会に参加することとなりました。名誉なことですよ。総合理学部長の向江先生によると、同時に2人が選ばれるのは本校でも珍しいとのこと。2人は8月18日から22日の日程で渡米することになります。大きな舞台で、研究の成果が存分に発揮できますように。

また、新入生を歓迎するための宿泊登山を大いに支えてくれた山岳部からも嬉しい知らせが届きました。兵庫県高校総体の登山の部で本校山岳部男子が優勝し、3年ぶり18度目の全国高校総体出場を決めたのです。大久保くん、中根くん、永見くん、橋本くん、おめでとうございます。

5月の神戸市大会は2位でした。その時から顧問の桑田先生は「僅かの差なんで、なんとか頑張らせたい」と、ともに練習を重ねておられました。自身も本校の選手として兵庫を制し、全国総体への出場経験のある桑田先生だけに思入れもきわめて深いものがあります。その思い、結実しましたね。

また、女子は第2位でした。繁戸先生が悔しがって、おっしゃいます。「本当に惜しい、2位でした。もう少しだったんですけれどね」と。それでも、今回出場した4人の悔しさはきっと来年に引き継がれていくのでしょう。これからの山岳部にただただ期待してしまいます。



やりたいことと、やらねばならないことが膨らむ一方の高校時代。嬉しいことに、バスの車内やバス停で話しかけてくれる生徒がいます。日々の授業や宿題、兼部している生徒ならではの思いなどを語ってくれます。でも、一生懸命に生きているから悩むんですよね。

そんななかで時間をやりくりしながら成果を出していく皆さんに私も思っていますよ。「あやかりたい」ってね。でも、心と身体の成長のために睡眠時間は確保してくださいね。